

## 無機系超低汚染コーティング剤



## 自然の恵み(降雨)を利用して、美観を保つ。

「ニッペ クリスタコート」は、独自の無機技術から生まれた超低汚染コーティング剤です。乾燥直後から超親水性(=超低汚染性)機能を発揮します。

## 〈特長〉

- 1 当社最高レベルの「超低汚染性」
- 2 すぐれた弾性適性
- 3 ローラー、はけ、スプレーでの施工が可能
- 4 非危険物(水性)1液タイプ

## 当社最高レベルの超低汚染性



東西南北、暗所でも超低汚染性を発揮します。

## 〈雨だれ汚染暴露試験-2年経過後-〉

※大阪府の交通量の多い国道沿いで実験。

一般水性塗料の塗膜上半分にニッペ クリスタコートを塗装した試験板を屋外に2年間暴露しました。ニッペ クリスタコートを塗装していない部分にはかなりのよごれが付着していますが、塗装面にはほとんどよごれが見られず、超低汚染性を発揮していることがよくわかります。

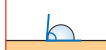
ニッペ クリスタコート塗装面

※クリスタコートの効果は、汚染程度を低減・遅延するもの(超低汚染機能)であり、汚れを完全に防止するものではありません。

## 乾燥直後から「超親水性」を発現

乾燥直後から水と馴染みやすくなります。これにより、表面によごれが付着しても、水ので洗い流すことができます。

水がはじく

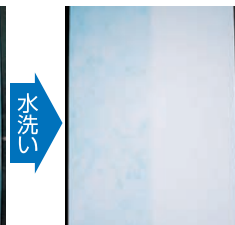
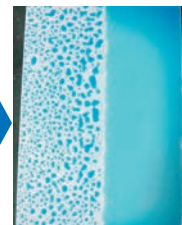


水が濡れ広がる



## 〈親水性試験〉

一般水性塗料塗膜の右半分にニッペ クリスタコートを塗装し、乾燥後、霧吹きにて着色水を散布しました。ニッペ クリスタコート塗装面は着色水が濡れ広がり、水と馴染んでいることがわかります。また水洗いにより、着色水による汚れも洗い流しやすくなっています。

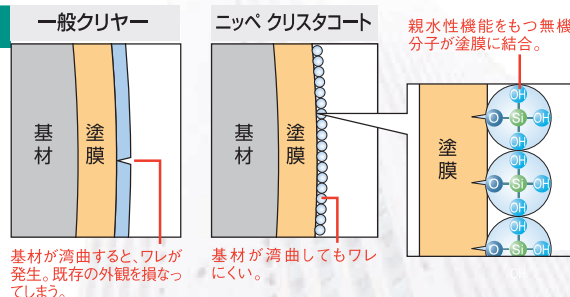


ニッペ クリスタコート塗装面

ニッペ クリスタコート塗装面

## ニッペ クリスタコートのメカニズム

塗膜表面に親水性基(-OH)をもった無機分子が並んで定着します。それらが独立して塗膜表面に結合するため、ニッペクリスタコートのワレによる外観の変化や親水性機能の低下を招く心配が少なく、塗り替え直後の美しい外観を長く保つことができます。



## 組み合わせ上塗り例

系統	商品名
超高耐候低汚染水性2液形無機塗料	アプラウド シェラスター-NEO
1液水性反応硬化形フッ素樹脂塗料	オーデフレッシュF100 III
1液水性反応硬化形シリコン系塗料	オーデフレッシュSi100 III
セラミック・シリコン樹脂系意匠塗材	インディアート-CERA

## 塗装基準

商品名	容量	色相	希釈剤	使用量*
ニッペ クリスタコート	8kg	無色透明	無希釈	0.04~0.20kg/m <sup>2</sup> /回

※上塗り材とニッペ クリスタコートの塗装間隔は必ず16時間以上あけてください。

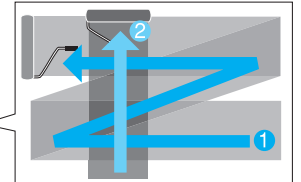
\*一般水性塗膜上…0.04~0.08 Kg/m<sup>2</sup>/回  
砂壁など凹凸、吸い込みの大きい面…0.08~0.20Kg/m<sup>2</sup>/回

## 乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	3時間以上	2時間以上	1時間以上

## 施工上のポイント

ニッペ クリスタコートは、継ぎ目を気にすることなく塗ることができる、扱いやすいコーティング剤です。しかし、塗り忘れを防止するために、下記施工方法にて施工することを推奨します。



### 塗り忘れ防止策

塗装は、目地、足場板などで区切って行い、休憩などで塗装を中断する場合には、テープなどで目印をつけてください。

### 塗り方

低粘度のため、横に配るように塗り広げた後、下から上に拾いながらのばしてください。

## 施工上の注意事項

※詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください

- 液だれしやすいため養生をしっかりと行ってください。また、ローラー塗装する場合には、ローラーをよくしごいて塗してください。
- 濃彩色の上には、つやむらが発生するので塗さないでください。
- ニッペ クリスタコートを塗装すると、塗装前と比較して僅かに光沢が低下する傾向にあるので、下地の形状などにより、むらとして目立つ場合があります。特に平滑仕上げ面では短毛ローラーなどを使用し、できるだけ均一に塗してください。(平滑仕上げ面での推奨塗具:短毛ローラー、のり刷毛、エアスプレー、低圧スプレー)
- 各種上塗りの上に塗り重ねる場合には、上塗り塗装後、必ず16時間以上あけてください。塗り重ね時間が短いと仕上がりが不良、性能低下などの原因になります。
- 塗り忘れ部分には、よこれが発生する可能性があります。塗装は、目地、面、足場板などで区切って行い、休憩などで塗装を中断する場合には、テープなどで目印をつけてください。
- 研磨、高圧洗浄など物理的に負担をかけた場合、性能を発揮しなくなるおそれがあります。
- クリスタコートの超低汚染効果は、水の力で汚れを洗い流すものですので、雨がかりや散水の無い場所では効果を発揮しません。
- 構造上、常時水が流れて新たな汚染物質が運ばれてくる場所や、シーリング剤からの可塑剤の流出が多い場合など、汚れの負荷が大きい場合には、十分な効果を発揮できない可能性があります。また錆汁汚染、鳥糞などに対しては効果を発揮しません。
- 本品は水性のコーティング剤ですが、アルコールを含んでいるため若干のアルコール臭がします。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

## 安全衛生上の注意事項 (ニッペ クリスタコート)

## 横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
  - 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
  - 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
  - 容器を密閉してください。
  - 容器および受器を接地してください。
  - 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
  - 火花を発生しない工具を使用してください。
  - 粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。
  - この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
  - 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
  - 適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面罩/保護衣を着用してください。
  - 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
  - 飲み込んだ場合:気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
  - 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
  - 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けてください。
  - 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
  - 取り扱った後、手を洗ってください。
  - 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
  - 暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
  - 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
  - 水を消火に使用しない。
  - 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
  - 施設して子供の手の届かないところに保管してください。
  - 直射日光や水濡れは厳禁です。
  - 積み重ねは3段までとってください。
  - 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度にしないでください。
  - よくふたをし、5℃~40℃の屋内で貯蔵してください。
  - 内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
  - 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
  - 容器、塗料具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。  
■ 本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険		危険有害性情報	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・引火性液体および蒸気</li> <li>・飲み込むと有害のおそれ</li> <li>・皮膚に接触すると有害のおそれ</li> <li>・強い眼刺激</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝子疾患のおそれ</li> <li>・生殖能力または胎児への悪影響のおそれ</li> <li>・臓器の障害(単回暴露)</li> <li>・長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害</li> </ul>

■ 詳しい情報はホームページで <http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

日本ペイント 建物 検索

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2013 NIPPON PAINT Co., Ltd All rights reserved.

## 日本ペイント株式会社

お客さまセンター

03-3740-1120

06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- 当社は2013年11月現在ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは再生紙を使用しています。

カタログNo.

NP-R128

KE131104T

2013年11月現在